

Content Delivery Network

ベストプラクティス

製品ドキュメント



Tencent Cloud

Copyright Notice

©2013-2023 Tencent Cloud. All rights reserved.

Copyright in this document is exclusively owned by Tencent Cloud. You must not reproduce, modify, copy or distribute in any way, in whole or in part, the contents of this document without Tencent Cloud's the prior written consent.

Trademark Notice



All trademarks associated with Tencent Cloud and its services are owned by Tencent Cloud Computing (Beijing) Company Limited and its affiliated companies. Trademarks of third parties referred to in this document are owned by their respective proprietors.

Service Statement

This document is intended to provide users with general information about Tencent Cloud's products and services only and does not form part of Tencent Cloud's terms and conditions. Tencent Cloud's products or services are subject to change. Specific products and services and the standards applicable to them are exclusively provided for in Tencent Cloud's applicable terms and conditions.

カタログ：

ベストプラクティス

CDN - CVM

概要

CDNコンソールで実現

CDN - COS

概要

CDNコンソールで実現

COSコンソールで実現

DNSPodクイック設定CNAME

ベストプラクティス

CDN - CVM

概要

最終更新日：：2020-08-17 17:33:29

このドキュメントでは、Tencent Cloud CDNを使用してCOSへのアクセスを高速化する方法について説明します。

Content Delivery Network (CDN)

Tencent Cloud CDNは、リソースを中国全土にある大量のアクセラレーションノードに配信し、Tencentが自社開発したGSLBスケジューリングシステムと連携して、エンドユーザーが最寄りから必要なリソースを取得できるようにします。これにより、ネットワーク輻輳、リージョン、キャリアなどの要因によるアクセス遅延を回避できます。また、ダウンロード速度を効果的に向上させ、応答時間を短縮し、快適なユーザーエクスペリエンスをご提供します。

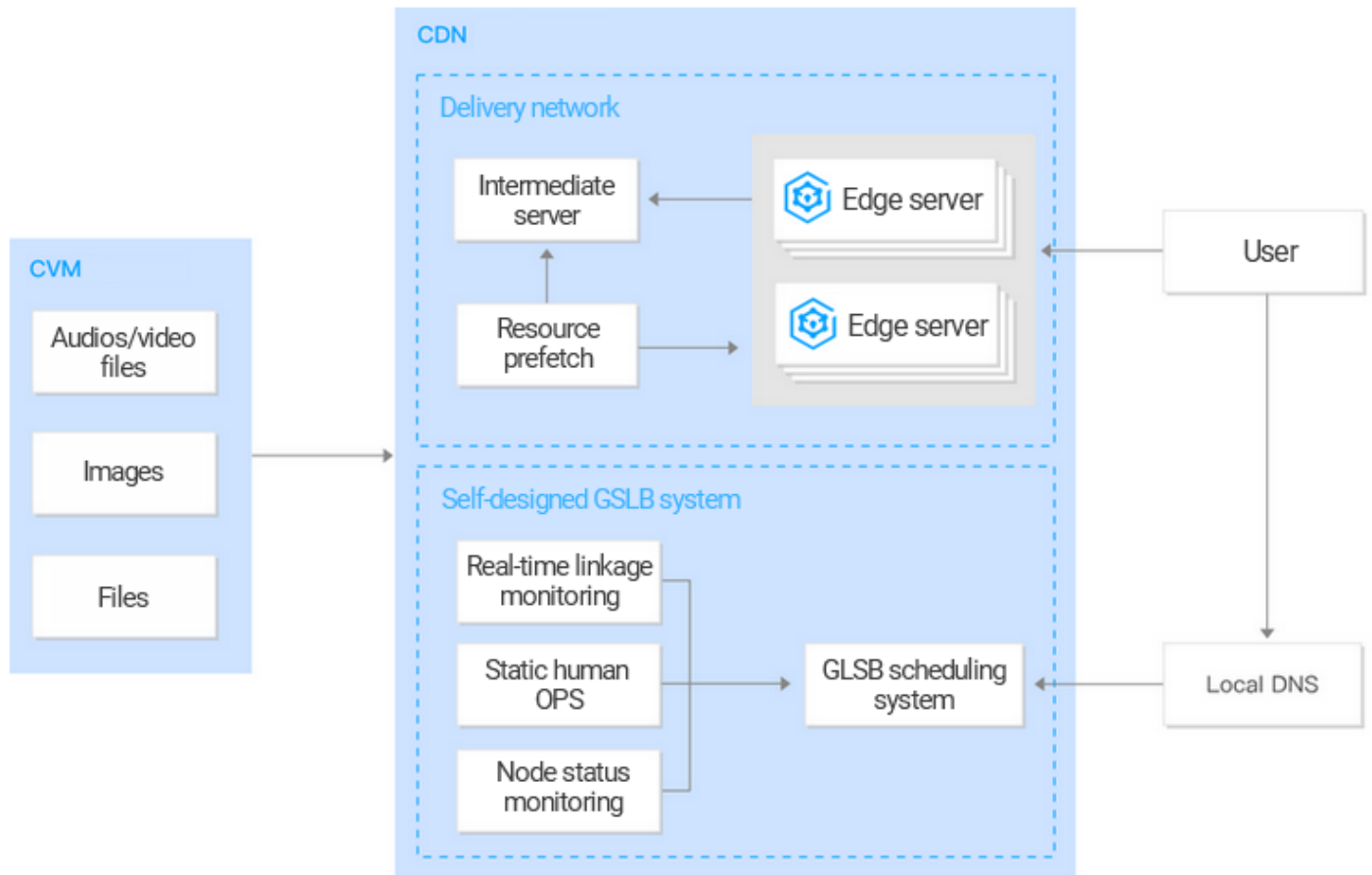
Cloud Virtual Machine (CVM)

Tencent Cloud CVMはクラウドにあるスケーラブルな仮想コンピューティングリソースを提供し、お客様は複数のOSを選択してCVMインスタンスを有効にして、カスタマイズされたアプリケーション環境にロードできます。将来のサービス量の変化に応じて、コンピューティングリソースをリアルタイムで増加または減少し、CVM仕様を変更できます。

コンテンツ配信の実践

Tencent Cloud CDNは、ユーザーがCVMに保存されている静的リソース（大量の音声・動画、画像、ファイルなどのリソース）のグローバル配信を高速化できます。Tencent Cloud CDNのグローバルアクセラレーションノードとスケジューリング機能を利用して、アクセス頻度の高いリソースをエッジサーバーに事前に配信できます。エンドユーザーからリソースアクセス/ダウンロードのリクエストが送信されると、最寄りから必要リソースを取得できます。

Tencent Cloud CDNは、CVMをアクセラレーションし、オリジンサーバーの負荷を軽減し、転送遅延と帯域幅コストを低減し、サービスの可用性を大幅に向上させます。



COSに格納されているハイブリッドリソースまたは動的リソースの配信を高速化するには、[ECDN](#)を利用できます。

操実装

CDNがCVMをアクセラレーションする操作実現方法の詳細は次のとおりです。

CDNアクセラレーションドメイン名をCVMドメイン名またはIPアドレスにバインドしてから、CDNアクセラレーションサービスを有効にします。操作手順の詳細については、[CDNコンソールを介して実現](#)をご参照ください。

CDNコンソールで実現

最終更新日：：2021-11-09 16:18:15

本ドキュメントでは、CDNコンソールでCDNアクセラレーションCVMを実現する全体的な操作フローと具体的な操作方法を詳しく説明します。

前提条件

1. Tencent Cloudのアカウント登録を完了し、実名認証します。
2. CVMサービス有効化の詳細については、[CVMの使用開始](#)をご参照ください。

操作ガイド

ドメイン名の追加

[CDNコンソール](#)にログインし、左側ナビゲーションバーで【ドメイン名管理】をクリックして管理ページに進み、【ドメイン名の追加】をクリックします。

その1：ドメイン名の設定

ドメイン名にアクセラレーションしたい自身のサービスドメイン名を入力し、そのプロジェクト、アクセラレーションリージョン、およびサービスタイプを選択します。

設定項目の詳細説明：

| 設定項目 | 説明 |
|------|----|
|------|----|

| 設定項目 | 説明 |
|----------------|---|
| ドメイン名 | <p>1. ドメイン名の長さは81文字以内です。</p> <p>2. 中国本土のドメイン名は工信部にてICP登録済みのものとします。</p> <p>3. ドメイン名 <code>a.test.com</code>、<code>a.b.test.com</code> などの形式のサブドメイン名または <code>*.test.com</code>、<code>*.a.test.com</code> 形式の汎用ドメイン名をサポートします。</p> <p>4. ドメイン名にアクセスするのが汎用ドメイン名である場合、または他のユーザーによってアクセスされている場合は、所有権の検証を行う必要があります。</p> <p>注意事項：</p> <p>1. 汎用ドメイン名にアクセスした後、そのサブドメイン名または第2レベル汎用ドメイン名については、他のアカウントでのアクセスは現在サポートされていません。</p> <p>2. <code>*.test.com</code> と <code>*.a.test.com</code> の同時アクセスは、現在サポートされていません。</p> <p>3. 現在、アンダーバーを含むドメイン名と中国語ドメイン名のpunycodeコードへのアクセスをサポートしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> 中国本土の中国語ドメイン名はまず中国語の形式で関連の登録を行う必要があります。 「中国語.ドメイン名」などの中国語ドメイン名は、サードパーティのツールで「xn--fiq228c.xn--eqrt2g」に変換した後、アクセスすることができます。 「test_qq.tencent.cloud」などのアンダーバーを含むドメイン名は、直接追加することができます。 <p>4. ドメイン名が悪意のあるドメイン名やハイリスクのドメイン名である場合は、アクセスできません。詳細については、使用制限をご参照ください。</p> |
| 所属プロジェクト | <p>プロジェクトは、Tencent Cloudのすべてのクラウドサービスの共有リソースセットの概念です。プロジェクト管理ページでプロジェクト関連の操作を実行できます。</p> |
| アクセラレーションリージョン | <p>中国本土：グローバルユーザーからのアクセスは、中国本土のアクセラレーションノードにスケジューリングされてサービスを提供します。</p> <p>中国本土以外：グローバルユーザーからのアクセスは、中国本土以外のアクセラレーションノードにスケジューリングされてサービスを提供します。</p> <p>グローバル：グローバルユーザーからのアクセスは、最も近いノードにスケジューリングされてサービスを提供します。</p> <p>注意事項：</p> <p>中国本土と中国本土以外アクセラレーションサービスは別々で課金されます。課金ポリシーの詳細についてクリックして確認してください。</p> |

| 設定項目 | 説明 |
|----------------|--|
| サービスタイプ | <p>Tencent Cloud CDNでは、異なるサービスタイプに相応しいアクセラレーションパフォーマンスの最適化が行われています。</p> <p>より良いアクセラレーション効果を得るには、ご自分のサービスに近いサービスタイプを選択することをお勧めします。</p> <p>静的アクセラレーション：電子商取引、Webサイト、ゲーム画像系の小規模リソースアクセラレーションシナリオに適しています。</p> <p>ダウンロードアクセラレーション：ゲームのインストールパッケージ、音声・動画ソースファイルのダウンロード、携帯電話のファームウェア配布などのダウンロードシナリオに適しています。</p> <p>ストリーミングメディアVODのアクセラレーション：オンライン教育、オンライン動画オンデマンドなどに適しています。</p> |
| アクセラレーションプロトコル | <p>IPv4：ノードはIPv4アクセスのみをサポートします。</p> <p>IPv4 + IPv6：ノードはIPv4とIPv6の両方のアクセスをサポートしています。このオプションにチェックを入れた場合のみ、IPv6オリジンサーバーを設定できます。</p> <p>注意事項：</p> <p>IPv6は、中国本土でのみサポートされています。</p> |

その2：オリジンサーバーの設定

サービスオリジンサーバー関連情報を設定します。CDNノードはキャッシュにリソースがない場合、オリジンサーバーに戻って取り出してキャッシュします。

設定項目の詳細説明：

| 設定項目 | 説明 |
|-------------|---|
| オリジンサーバータイプ | <p>ユーザー保有オリジンサーバー：安定して稼働している業務サーバー（オリジンサーバー）がある場合は、これを選択します。</p> <p>Cloud Object Storage（COSオリジンサーバー）：リソースがCOSにすでに保存されている場合は、直接bucketを選択してオリジンサーバーとすることができます。</p> |

| 設定項目 | 説明 |
|---------------------|--|
| オリジンサーバーアドレス | <p>ユーザー保有オリジンサーバー：</p> <ol style="list-style-type: none"> 複数のIPをオリジンサーバーとして設定することをサポートし、back-to-origin時にポーリングback-to-originを実行します。 複数のIPシナリオでは、back-to-originの重みを設定することができます。形式はIP：ポート:主に(1~100)で、ポートを省略し、IP::重みとすることができます。 1つのドメインをオリジンサーバーとして設定することをサポートし、このドメイン名はビジネスアクセラレーションドメイン名と異なる必要があります。 <p>COSオリジンサーバー：</p> <ol style="list-style-type: none"> ドロップダウンボックスでオリジンサーバーとして設定したいパケットを選択します。 パケットがプライベートな読み取り/書き込み専用である場合は、まずCDNサービスにパケットに対するアクセス権限を付与する必要があります。権限を付与しない場合は、back-to-originが失敗するおそれがあります。 |
| back-to-originプロトコル | <p>オリジンサーバーでサポートされているプロトコルに基づいて選択できます。</p> <p>HTTP：HTTP/HTTPSアクセス要求はHTTP back-to-originを使用します。</p> <p>HTTPS：HTTP/HTTPSアクセス要求はHTTPS back-to-originを使用します。（オリジンサーバーはHTTPSアクセスをサポートする必要があります）。</p> <p>Follow protocol：HTTPアクセス要求はHTTP back-to-originを使用します。HTTPSアクセス要求はHTTPS back-to-originを使用します。（オリジンサーバーはHTTPSアクセスをサポートする必要があります）。</p> |
| back-to-originドメイン名 | <p>back-to-originドメイン名とは、CDNノードがback-to-originするときに、オリジンサーバーでアクセスしたサイトのドメイン名のことです。</p> <p>サブドメイン名にアクセスする場合、デフォルトはアクセラレーションドメイン名と同じで、カスタマイズして変更できます。</p> <p>汎用ドメイン名にアクセスする場合、デフォルトでは実際にアクセスするサブドメイン名となります。カスタマイズして変更できます。</p> |

その3：サービスの設定

ノードアクセラレーションサービス関連の設定を行います。

設定項目の詳細説明：

| 設定項目 | 説明 |
|------|----|
|------|----|

| 設定項目 | 説明 |
|-------------------------|--|
| パラメータの無視 | <p>ノードがリソースをキャッシュするには、Key-Valueマッピングに従います。ここでのKeyはリソースURLです。</p> <p>パラメータの無視を有効にすると、KeyはURLの「?」以降のパラメータを無視してマッピングします。</p> <p>パラメータの無視を有効にしないと、Keyは完全なリソースURLになります。</p> <p>静的アクセラレーションタイプは、デフォルトでは無効になっており、ダウンロードおよびストリーミングメディアVODアクセラレーションタイプは、デフォルトでは有効になっています。詳細については、キャッシュキールールの設定をご参照ください。</p> |
| Back-to-Origin of Range | <p>back-to-origin時にパート化するかどうかを設定します。有効化するにはオリジンサーバーがパート化をサポートしている必要があります。詳細については、パートback-to-origin設定をご参照ください。</p> <p>オリジンサーバータイプがCOSオリジンサーバーである場合は、Back-to-Origin of Rangeがデフォルトで有効になっています。</p> |
| キャッシュルール | <p>ノードキャッシュの有効期限の設定であり、デフォルトでは、すべてのファイルのキャッシュの有効期限は30日間です。</p> <p>設定されたノードキャッシュの有効期限は最長の有効期限であり、ノードのストレージリソースの影響を受けます。実際のキャッシュ時間は状況に応じて決定されます。詳細については、キャッシュの有効期限の設定をご参照ください。</p> |

アクセスの完了

ドメイン名の追加ページのすべての設定を入力後、【送信を確認】をクリックし、ドメイン名追加操作を完了します。ドメイン名の設定をネットワーク全体のノードに配信するには約5~10分かかります。しばらくお待ちください。

CNAMEの設定

ドメイン名が正常に追加されたら、**ドメイン名管理**ページで、CDNがドメイン名として割り当てられたアクセラレーションCNAMEを表示できます。アクセスドメイン名のDNSサービスプロバイダ（Dnspodなど）に接続し、このドメイン名にそのCNAMEレコードを追加して**DNS設定を有効化すると**、アクセラレーションサービスが実行可能になります。詳細については、[CNAME設定](#)をご参照ください。

注意：

関連部門の規定によれば、オリジンサーバーはTencent Cloud CVMのアクセラレーションドメイン名であり、back-to-origin HOSTによって設定されたドメイン名をTencentCloudにICP登録する必要があります。詳細については、[back-to-origin HOSTの設定](#)をご参照ください。

CDN - COS

概要

最終更新日：：2020-12-02 10:13:52

このドキュメントでは、Tencent Cloud CDNを使用してCOSへのアクセスを高速化する方法について説明します。

Content Delivery Network (CDN)

Tencent Cloud CDNは、リソースを中国全土にある大量のアクセラレーションノードに配信し、Tencentが自社開発したGSLBスケジューリングシステムと連携して、エンドユーザーが最寄りから必要なリソースを取得できるようにします。これにより、ネットワーク輻輳、リージョン、キャリアなどの要因によるアクセス遅延を回避できます。また、ダウンロード速度を効果的に向上させ、応答時間を短縮し、快適なユーザーエクスペリエンスをご提供します。

Cloud Object Storage (COS)

ユーザーは、静的リソース（静的スクリプト、音声・動画、画像、添付ファイルなどのファイル）をすべてTencent Cloud COSの標準ストレージに保存し、無制限の容量と高頻度な読み込み/書き込みの機能を利用して、静的リソースにスケーラブルな信頼性の高いストレージを提供し、リソースサーバーの負荷を軽減します。

コンテンツ配信の実践

Tencent Cloud CDNは、COSに保存されている静的リソース（静的スクリプト、音声・動画、画像、添付ファイルなどのファイル）のグローバル配信を高速化できます。Tencent Cloud CDNのグローバルアクセラレーションノードとスケジューリング機能を利用して、アクセス頻度の高いリソースをエッジサーバーに事前に配信できます。エンドユーザーからリソースアクセス/ダウンロードのリクエストが送信されると、最寄りから必要なリソースを取得できるため、オリジンサーバーの負荷が低減され、転送遅延も短縮され、ユーザーエクスペリエンスが大幅に

向上します。



COSに格納されているハイブリッドリソースまたは動的资源の配信を高速化するには、[ECDN](#)を利用できます。

実装

CDNアクセラレーションは、次の2つの方法でCOSに実装できます。アクセラレーションを完了するには、次のいずれかの方法を選択できます。

- COSドメイン名をCDNアクセラレーションドメイン名にポイントし、ユーザードメイン名をCDNアクセラレーションドメイン名にバインドします。操作手順の詳細については、[CDNコンソールを介して実現](#)をご参照ください。
- ユーザードメイン名をCOSドメイン名にバインディングする同時に、CDNアクセラレーションを有効にします。操作手順の詳細については、[COSコンソールを介して実現](#)をご参照ください。

CDNコンソールで実現

最終更新日：2023-03-10 16:45:53

本ドキュメントでは、CDN経由のCOSアクセラレーションについての全体的な操作フローと具体的な操作方法を詳しく説明します。

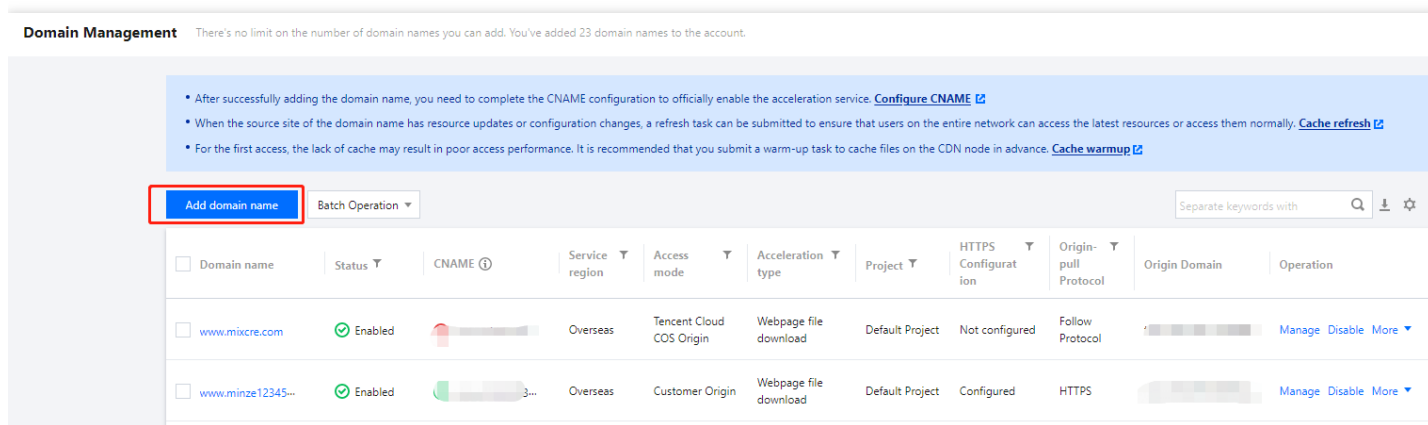
前提条件

1. Tencent Cloudのアカウント登録を完了し、実名認証します。
2. COSバケットを作成します。詳細については、[バケットの作成](#)をご参照ください。

操作ガイド

ドメイン名の追加

CDNコンソールにログインし、左側のナビゲーションバーでドメイン名管理をクリックしてドメイン名管理ページに進み、ドメイン名の追加をクリックします。



The screenshot shows the 'Domain Management' page in the Tencent Cloud console. At the top, there is a blue banner with instructions: 'After successfully adding the domain name, you need to complete the CNAME configuration to officially enable the acceleration service. [Configure CNAME](#)', 'When the source site of the domain name has resource updates or configuration changes, a refresh task can be submitted to ensure that users on the entire network can access the latest resources or access them normally. [Cache refresh](#)', and 'For the first access, the lack of cache may result in poor access performance. It is recommended that you submit a warm-up task to cache files on the CDN node in advance. [Cache warmup](#)'. Below the banner, there is a table with columns: Domain name, Status, CNAME, Service region, Access mode, Acceleration type, Project, HTTPS Configuration, Origin-pull Protocol, Origin Domain, and Operation. Two domain names are listed: 'www.mixcre.com' and 'www.minze12345...'. The 'Add domain name' button is highlighted with a red box.

| Domain name | Status | CNAME | Service region | Access mode | Acceleration type | Project | HTTPS Configuration | Origin-pull Protocol | Origin Domain | Operation |
|--|---------|-------|----------------|--------------------------|-----------------------|-----------------|---------------------|----------------------|---------------|---------------------|
| <input type="checkbox"/> www.mixcre.com | Enabled | | Overseas | Tencent Cloud COS Origin | Webpage file download | Default Project | Not configured | Follow Protocol | | Manage Disable More |
| <input type="checkbox"/> www.minze12345... | Enabled | | Overseas | Customer Origin | Webpage file download | Default Project | Configured | HTTPS | | Manage Disable More |

COSをオリジンサーバーとして選択

その1：ドメイン名の設定

ドメイン名にアクセラレーション対象のリージョンとお客様のサービスドメイン名を追加し、次にプロジェクト、アクセラレーションタイプ、IPv6アクセスを有効にするかどうか、およびタグを選択します。

Domain Configuration

Accelerator region Chinese mainland Overseas Global

Acceleration domain name
Enter a valid domain name

Acceleration type
CDN accelerates static content, while ECDN accelerates dynamic content. For pricing and billing details of each service, see the [product document](#). The acceleration type cannot be changed once it's selected. If you need to change it, delete the domain name and add it again.

IPv6 Access
Enable it to allow access through IPv6

Project

Tag (optional)

構成項目の詳細説明：

| 構成項目 | 構成の説明 |
|----------------|--|
| アクセラレーションリージョン | <p>中国本土：グローバルユーザーからのアクセスは、中国本土のアクセラレーションノードにスケジューリングされてサービスを提供します。</p> <p>中国本土以外：グローバルユーザーからのアクセスは、中国本土以外のアクセラレーションノードにスケジューリングされてサービスを提供します。</p> <p>グローバル：グローバルユーザーからのアクセスは、最も近いノードにスケジューリングされてサービスを提供します。</p> <p>注意事項：中国本土と中国本土以外のアクセラレーションサービスは別々に課金されます。課金ポリシーについては[クリックして確認] (https://www.tencentcloud.com/document/product/228/2949) してください。</p> |

| 構成項目 | 構成の説明 |
|----------------|---|
| アクセラレーションドメイン名 | <ol style="list-style-type: none"> ドメイン名の長さは81文字以内です。 ドメイン名は工業情報化部にてICP申告済みである必要があります。 ドメイン名が <code>a.test.com</code>、<code>a.b.test.com</code> などの形式のサブドメイン名、または <code>*.test.com</code>、<code>*.a.test.com</code> のようなワイルドカード形式のドメイン名をサポートします。 ドメイン名がワイルドカード形式のドメイン名である場合、または他のユーザーによってすでに追加されている場合は、所有権の検証を行うことでドメイン名を追加または取り戻すことができます。 <p>注意事項：</p> <ol style="list-style-type: none"> ワイルドカード形式のドメイン名を追加した後、そのサブドメイン名または第2レベルのワイルドカード形式のドメイン名を、その他のアカウントに追加することは現在サポートされていません。 <code>*.test.com</code> と <code>*.a.test.com</code> の同時追加は現在サポートされていません。 現在、アンダーバーを含むドメイン名とpunycodeに変換された中国語ドメイン名の追加をサポートしています。 <ul style="list-style-type: none"> 中国本土の中国語ドメイン名はまず中国語の形式で関連の申告を行う必要があります。 「中国語.ドメイン名」などの中国語ドメイン名は、サードパーティのツールで「xn--fiq228c.xn--eqrt2g」に変換した後、追加することができます。 「test_qq.tencent.cloud」などのアンダーバーを含むドメイン名は、直接追加することができます。 ドメイン名が悪意のあるドメイン名やハイリスクのドメイン名である場合は、追加できません。詳細については、使用制限をご参照ください。 |
| 所属プロジェクト | <p>プロジェクトは、Tencent Cloudのすべてのクラウド製品の共有リソースセットの概念です。プロジェクト管理ページでプロジェクト関連の操作を実行できます。（任意）</p> |

| 構成項目 | 構成の説明 |
|--------------|---|
| アクセラレーションタイプ | <p>Tencent Cloud CDNは、異なるサービスタイプに合わせてアクセラレーションパフォーマンスを最適化しています。より良いアクセラレーション効果を得るために、お客様のビジネスに最も近いサービスタイプを選択することをお勧めします。</p> <p>CDNとECDNは、それぞれ静的リソースと動的リソースのアクセラレーションに適しています。</p> <p>CDN：</p> <ul style="list-style-type: none"> •小容量Webページファイル：eコマース、ウェブサイト、UGCコミュニティなど、小容量の静的リソース（たとえば、ホームページのスタイル、画像および小容量ファイル）を主とするサービスシーンに適しています。 •大容量ファイルのダウンロード：ゲームのインストールパッケージ、アプリケーションの更新、アプリケーションパッケージのダウンロードなど、比較的ファイル容量が大きいサービスシーンに適しています。 •オーディオ/ビデオ・オン・デマンド：オーディオとビデオのオンライン・オンデマンドなど、オーディオ/ビデオファイルのオンデマンドアクセラレーションサービスシーンに適しています。 <p>ECDN：</p> <ul style="list-style-type: none"> •動的・静的アクセラレーション：各種Webサイトのトップページなど、動的・静的データが組み合わさったサービスシーンに適しています。 •動的アクセラレーション：アカウントのログイン、注文取引、APIの呼び出し、リアルタイム照会などのシーンに適しています。 <p>アクセラレーションタイプは一度選択すると、変更することはできません。変更する場合は、ドメイン名を削除して再度追加する必要があります。</p> |
| IPv6アクセス | <p>IPv6アクセス：ノードはデフォルトでIPv4アクセスをサポートしています。有効化するとIPv6アクセスをサポートするようになります。</p> <p>注意事項： 中国本土でのみIPv6をサポートします。（任意）</p> |
| タグ | <p>さまざまな次元からリソースのカテゴリ管理を行うために用います。既存のタグが要件を満たさない場合は、コンソールのタグの管理に移動してください。（任意）</p> |

その2：オリジンサーバーの構成

サービスオリジンサーバーの関連情報を構成します。CDNノードはキャッシュにリソースがない場合、オリジンサーバーに戻ってリソースを取得してキャッシュします。

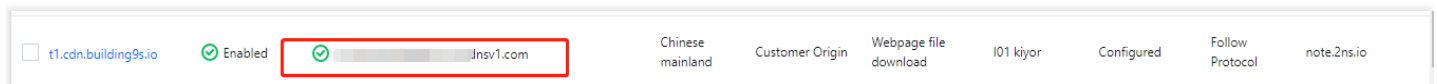
1. **ドメイン名設定内のオリジンサーバータイプ**で選択：COSオリジン（すなわち、Cloud Object Storage）。
2. オリジンサーバーのサポート状況に応じて、**Back-to-Origin**リクエストプロトコルを選択します。
3. オリジンサーバーのアドレス内で対応する**バケット**を選択します。
4. **プライベートバケットアクセス**を有効化するには、COS-bucket権限管理に移動して先にCDNサービスの権限承認を行う必要があります。権限承認を確認した後、手動で有効化できます。

5. Back-to-Origin HOSTはデフォルト値を保持し、変更する必要はありません。

ドメイン名の追加ページのすべての設定を入力した後、**追加を確認**をクリックし、ドメイン名の追加操作を完了します。ドメイン名の設定をネットワーク全体のノードに配信するには約5~10分かかります。しばらくお待ちください。

最終ステップ：CNAMEの構成

ドメイン名の追加が完了した後、**ドメイン名管理**ページで、CDNがドメイン名に割り当てたアクセラレーションCNAMEを確認することができます。



追加するドメイン名のDNSサービスプロバイダ（Dnspodなど）に移動し、ドメイン名に対して当該CNAMEレコードを追加する必要があります。**DNS構成が有効になった後**、アクセラレーションサービスが実行可能になります。詳細については、[CNAMEの構成](#)をご参照ください。

推奨設定

1. 設定完了後、COS下のリソースファイルに対してプリフェッチを行います。事前に静的リソースをCDNアクセラレーションノードにプリフェッチすることで、オリジンサーバーのストレスを軽減して、レスポンスとダウンロードの速度を向上させることができます。詳細については、[キャッシュプリフェッチ](#)をご参照ください。
2. クロスドメインのヘッダーパラメーターを設定します。リソースのクロスドメイン権限に関する問題を解決する場合、詳細は[HTTPレスポンスヘッダーの設定](#)をご参照ください。
3. クライアントのオリジンサーバーのリソースが変更されている場合、キャッシュを更新してからプリフェッチを行うことを推奨します。詳細は[キャッシュ更新](#)をご参照ください。

COSコンソールで実現

最終更新日：：2023-03-10 16:41:19

本ドキュメントでは、COSコンソールでCDN経由のCOSアクセラレーションを実現する全体的な操作フローと具体的な操作方法を詳しく説明します。

前提条件

1. Tencent Cloudのアカウント登録を完了し、実名認証します。
2. CDNサービスを有効にします。詳細については、[CDNクイックスタート](#)をご参照ください。

操作ガイド

バケットの作成

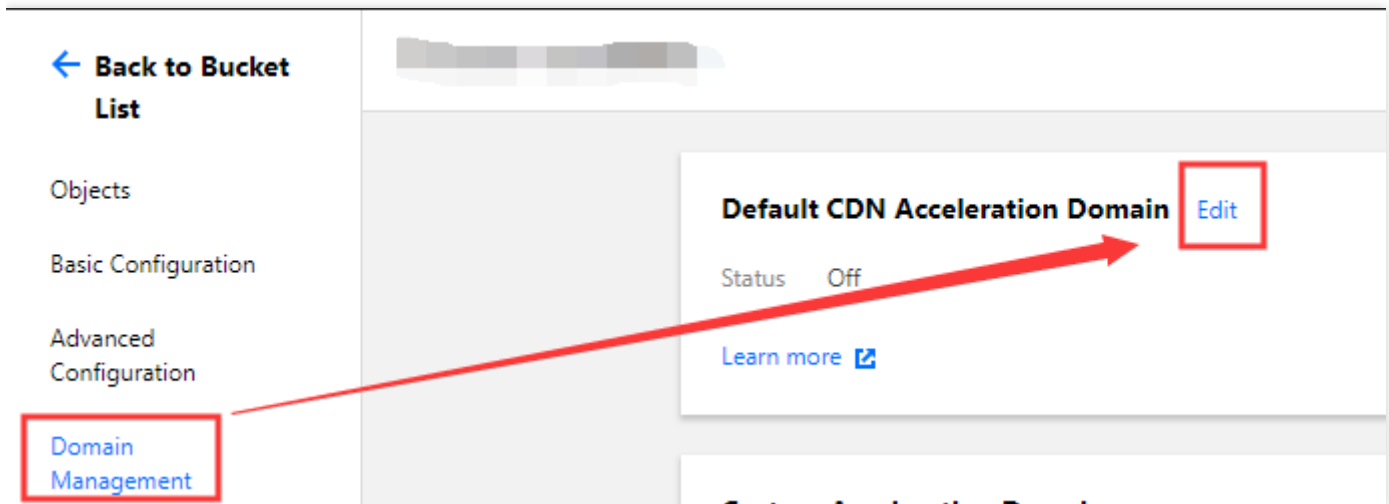
バケット作成の操作フローと方法については、[バケットの作成](#)をご参照ください。

アクセラレーション設定

1. バケットの作成後に直接そのバケットの設定管理ページに進むか、またはバケットリストで設定対象のバケットの操作欄から**設定管理**をクリックして、設定管理ページに移動し、**ドメイン名管理**を選択します。
2. **デフォルトCDNアクセラレーション**を有効にします

デフォルトCDNアクセラレーションはシステムによってデフォルトで生成され、ユーザーはCDNアクセラレーションノードのドメイン名を有効または無効にすることを選択できます。

(1) デフォルトCDNアクセラレーションモジュールにおいて、**【編集】**をクリックし、現在のステータスを手動で有効化すると、デフォルトCDNアクセラレーションの設定に進みます



(2) デフォルトCDNアクセラレーションの構成：

Default CDN Acceleration Domain

Status

Acceleration Domain Name

Acceleration Region Acceleration in Mainland China Acceleration outside Mainland China

Origin Server Type Default origin server Static website origin server ⓘ

Origin Server Domain Name

Origin-pull Authentication Add CDN Service Authorization

You need to authorize the CDN service and enable origin-pull authorization if the bucket allows private read.
You do not need to authorize the CDN service and enable origin authorization if the bucket allows public read.

[Learn more](#)

オリジンサーバータイプ：通常はデフォルトで**デフォルトオリジンサーバー**になっています。オリジンサーバーのバケットとして静的ウェブサイトの有効にしており、かつ静的ウェブサイトのアクセラレーションを希望する場合は、**静的ウェブサイトオリジンサーバー**を選択します。

Back-to-Origin認証：バケットがパブリック読み取りの場合、Back-to-Origin認証を有効にする必要はありません。バケットがプライベート読み取りの場合、CDNサービスの権限承認を追加し、手動でBack-to-Origin認証を有効にする必要があります。詳細については、[Back-to-Origin認証の有効化](#)をご参照ください。

CDNサービス権限承認：**CDNサービス権限承認の追加**をクリックし、CDNがバケット内のリソースにアクセスすることを選択してそれに同意します。

Are you sure you want to add CDN service authorization? ✕

The following authorization will be added to the Bucket Policy:

Effect Allow

User Tencent Cloud CDN service


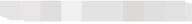


Resource The whole bucket Specific resources


Actions Get Object, Head Object, Options Object

I agree to this authorization and understand that the CDN service can access this bucket.

(3) 設定が完了した後、**保存**をクリックすると、CDNアクセラレーションが有効になります

Default CDN Acceleration Domain

| | |
|----------------------------|---|
| Status |  Deploying |
| Acceleration Domain Name |  myqcloud.com |
| Acceleration Region | Acceleration in Mainland China |
| Origin Server Type | Default origin server |
| Origin Server Domain Name |  myqcloud.com |
| Origin-pull Authentication | Enable |
| CDN Authentication |  Off (please go to CDN Console Authentication Configuration to open token-based authentication and then prevent malicious users from stealing content) |

[Learn more](#) 

注意：

- プライベート読み取りバケットに対して、Back-to-Origin認証とCDNサービス権限承認を同時に有効にすると、CDNがオリジンサーバーにアクセスする際に署名を必要としなくなります。CDNキャッシュリソースがパブリックネットワーク配信を行う際に、データセキュリティに影響を与えます。CDN認証を有効にすることをお勧めします。

- 2022年5月9日より、Cloud Object Storage (COS)サービスではデフォルトのCDNアクセラレーションドメイン名の新規追加をサポートしなくなりました。すでに有効にしている、または一度有効にしたデフォルトのCDNアクセラレーションドメイン名には影響がなく、引き続きご利用いただけますが、デフォルトのCDNアクセラレーションドメイン名の代わりにカスタムCDNアクセラレーションドメイン名を使用することをお勧めします。カスタムCDNアクセラレーションドメイン名の操作ガイドについては、[カスタムCDNアクセラレーションドメイン名の有効化](#)のドキュメントをご参照ください。

3. カスタムCDNアクセラレーションを有効にします

ユーザーはICP申告済みの**カスタムドメイン名**をバケットにバインディングし、CDNアクセラレーションを有効にすることができます。

説明：

COSコンソールで追加できるカスタムドメイン名は10個までです。

(1) **カスタムCDNアクセラレーション**モジュールで【ドメイン名の追加】をクリックして、ICP申告済みのカスタムドメイン名を追加します

| Domain | Acceleration Region | Origin Server Type | Origin-pull Authentication | CDN Authentication | CNAME | State | Actions |
|--------|---------------------|--------------------|----------------------------|--------------------|-------|-------|---------|
| | | | | | | | |

Note: Make sure that the added domain name has been filed and the corresponding CNAME has been set on the DNS provider website.
For more information or help, please refer to [Learn more](#)

(2) 追加するドメイン名の構成は次のとおりです。

ドメイン名：バインディング対象のカスタムドメイン名（例えば `www.example.com`）を入力します。入力するドメイン名はICP申告済みであること、およびDNSサービスプロバイダで対応するCNAMEを設定していることを確認してください。詳細については、[CNAMEの設定](#)をご参照ください。

Back-to-Origin認証：プライベート読み取りバケットに対して、オリジンサーバーのセキュリティを確保するために、Back-to-Origin認証を手動で有効にしてください。

設定が完了した後、**保存**をクリックすると、ドメイン名の追加を完了できます。

| Domain | Origin Server Type | CNAME | State | Actions |
|--------|-----------------------|--------------|--------|-------------|
| domain | Default origin server | myqcloud.com | Online | Save Cancel |

Note: This bucket provides service in Mainland China. Please make sure that your domain has been filed. Domain that is not filed cannot be bound to the bucket in Mainland China as a custom domain.
Meanwhile, set corresponding CNAME records on DNS service provider website and route to COS.
For more information or help, please refer to [Help of Custom Origin Domain](#)

!

- プライベート読み取りバケットに対して、Back-to-Origin認証とCDNサービス権限承認を同時に有効にすると、CDNがオリジンサーバーにアクセスする際に署名を必要としなくなります。CDNキャッシュリソースがパブリックネットワーク配信を行うため、データセキュリティに影響を与えます。CDN認証を有効にすることをお勧めします。
- 2022年5月9日より、Cloud Object Storage (COS)サービスではデフォルトのCDNアクセラレーションドメイン名の新規追加をサポートしなくなりました。すでに有効にしている、または一度有効にしたデフォルトのCDNアクセラレーションドメイン名には影響がなく、引き続きご利用いただけますが、デフォルトのCDNアクセラレーションドメイン名の代わりにカスタムCDNアクセラレーションドメイン名を使用することをお勧めします。カスタムCDNアクセラレーションドメイン名の操作ガイドについては、[カスタムCDNアクセラレーションドメイン名の有効化のドキュメント](#)をご参照ください。

(3) 保存すると、**CDN認証欄**にCDN認証機能スイッチが表示され、カスタムドメイン名のCDN認証を手動で有効化できます。

CDN認証：タイムスタンプ認証設定を有効化すると、ユーザーコンテンツに対する悪質な盗用を防ぐことができます。ドメイン名の追加完了後に設定する必要があります。

COSコンソールでCDNアクセラレーションCOSを実現する詳細内容については、[COSドメイン名管理の概要](#)をご参照ください。

推奨設定

1. 設定完了後、[CDNコンソール](#)に移動してCOS下のリソースファイルに対してプリフェッチを行います。事前に静的リソースをCDNアクセラレーションノードにプリフェッチすることで、オリジンサーバーのストレスを軽減して、レスポンスとダウンロードの速度を向上させることができます。詳細については、[キャッシュプリフェッチ](#)をご参照ください。
2. クロスドメインのヘッダーパラメーターを設定します。リソースのクロスドメイン権限に関する問題を解決する場合、詳細は[HTTPレスポンスヘッダーの設定](#)をご参照ください。
3. クライアントのオリジンサーバーのリソースが変更されている場合、キャッシュを更新してからプリフェッチを行うことを推奨します。詳細は[キャッシュ更新](#)をご参照ください。

DNSPodクイック設定CNAME

最終更新日：：2021-10-08 10:24:11

Tencent Cloud CDNとDNSPodでは解決設定機能が有効化されており、ドメイン名がTencent Cloud DNSPodにホストされている場合は、[CDNコンソール](#)を介してCNAMEをクイック設定でき、設定手順と時間を短縮し、CDNアクセラレーションサービスをすばやく有効にできます。

注意：

中国サイトのみをサポートし、グローバルサイトはサポートしていません。

背景

ドメイン名がCDNに接続されると、システムは自動的に `.cdn.dnsv1.com` を拡張子とするCNAMEドメイン名を割り当てます。詳細はCDNコンソールの[ドメイン名管理](#)ページで確認できます。CNAMEドメイン名は直接アクセスできないため、ドメイン名サービスプロバイダにてCNAME設定を完了する必要があります。CNAME記録が有効になると、CDNアクセラレーションサービスを有効化することができます。

シナリオ

Tencent Cloud CDNとDNSPodを同時に使用するユーザーがCNAME記録を設定し、CDNアクセラレーションサービスを有効にします。

操作ガイド

ドメイン名をDNSPodにホスティング

まずドメイン名を解決し、DNSPodにホスティングする必要があります。詳細については、[ドメイン名を解決しDNSPodにホスティングする](#)をご参照ください。

CDNサービスの使用

ドメイン名へのアクセス

[CDNコンソール](#)にログインし、左側ナビゲーションバーの[ドメイン名管理](#)をクリックしてドメイン名管理ページに移動し、[ドメイン名の追加](#)をクリックして、アクセラレーションしたいドメイン名を追加します。詳細について

は、[ドメイン名へのアクセス](#)をご参照ください。

CNAMEの設定

CDNコンソールの[ドメイン名管理](#)ページで対応するアクセラレーションドメイン名を検索し、CNAMEの前にあるアイコンにマウスを合わせると、関連プロンプトが表示されます。[クイック設定](#)をクリックしてCNAMEを設定します。

選択したドメイン名のアクセラレーションサービスを正式に有効化するため、ドメイン名のDNSPod側の解決レコードに対し次の処理を行います。

1. ドメイン名に解決レコードが何も設定されていない場合：デフォルト回線タイプのTencent Cloud CDN CNAMEレコードを新規追加します。デフォルトのTTL値は600です。
2. ドメイン名に解決レコードがすでに設定されている場合：設定されている解決レコードを一時停止し、デフォルト回線タイプのTencent Cloud CDN CNAMEレコードを新規追加します。デフォルトのTTL値は600です。

注：ドメイン名の設定済み解決レコードをすべて一時停止すると、ドメイン名の既存のDNS解決サービスに影響する可能性がありますので、よく確認してください。

その後、[DNSPodコンソール](#)で解決レコードを管理できます。

注意：

対応するドメイン名の管理権限が現在のアカウントにあることを確認してください。

サブアカウントまたはコラボレーターアカウントである場合は、ルートアカウントに連絡して権限を付与してもらってください。例：対応するCDNアクセラレーションドメイン名の書き込み権限 +QcloudDNSPodFullAccess権限の付与。

CNAME設定の完了

解決のクイック設定をサブミットした後、約1分以内に有効になりますので、しばらくお待ちください。有効になったら、CDNコンソール[ドメイン名管理](#)ページを更新することができます。CNAMEステータスが有効に変わったら、CNAMEの前にあるアイコンにマウスを合わせると、アクセラレーションサービスが正常に実行中であることのプロンプトが表示されます。

説明：

この機能を使用せずに、ご自身でCNAMEを設定したい場合は、[CNAMEの設定](#)をご参照ください。

その他

対応するアクセラレーションドメイン名を後で削除したい場合は、当社はDNSPod側の解決レコードを操作できませんので、必要に応じてご自身で解決レコードを修正してください。